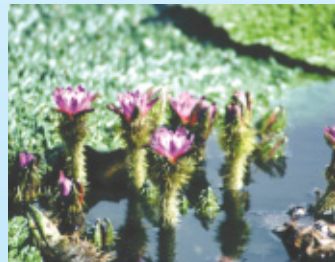


ISO 14001

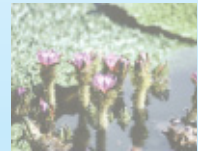
ECOIST



Environment Report

明石市 環境レポート

2004



http://www.city.akashi.hyogo.jp/ecoist/index.html

ISO 14001

ECOIST

Environment Report



編集・発行

明石市環境部環境政策課

〒673-0882 兵庫県明石市相生町2丁目5-15

TEL: 078-918-5029 FAX: 078-918-5107

e-mail: plan-ems@city.akashi.hyogo.jp

URL: http://www.city.akashi.hyogo.jp/kankyou/kankyou\_s\_ka/ecoist/index.html

発行日：平成17（2005）年2月

http://www.city.akashi.hyogo.jp/ecoist/index.html

# 環境レポートをお読みになる皆様へ

明石市では、環境の現況、環境施策の実施状況、環境マネジメントシステムの現況及び地球温暖化対策実行計画の現況等を詳しく市民の皆様にお知らせするために、平成13（2001）年度から年次報告書（明石市の環境）を毎年発行してまいりました。

このたび従来の年次報告書に加えて、より多くの方とのコミュニケーションを図るため、市民の皆様からの質問にお答えする形式で、分かりやすさ、見やすさを重視した「環境レポート2004」を作成いたしました。

今後このレポートをより良いものにするため、皆様からのご意見・ご感想をお寄せいただけますようお願い申し上げます。

## ごあいさつ

本市では、平成11（1999）年6月に環境基本条例を制定し、環境の保全及び創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進することを目的とした環境基本計画を、平成12（2000）年2月に策定しました。この環境基本計画を推進し、持続可能な社会を構築していくためには、一人ひとりの行動はもとより、市民、事業者、行政のパートナーシップによる取り組みが不可欠であると考えています。

本レポートが、市民、事業者の皆様にとりまして、環境問題と環境行政に対する理解と認識を深め、参画と協働への行動を起こしていただくための一助となりますようお願いいたしますとともに、積極的なご意見、ご提言を賜れば幸いに存じます。

平成17年2月  
明石市長

北口寛人




## 環境レポート2004について

**対象期間** 平成15年度（2003年4月～2004年3月）。一部には、平成16（2004）年度や平成14（2002）年度以前の活動も含めています。

**対象範囲** 明石市（行政委員会の事務局を含む）の環境施策と事務事業

**提供方法** 環境レポート2004は、冊子の他、Webサイトによる提供も行っています。また、従来の年次報告書～明石市の環境～もWebサイトから閲覧いただけます。詳しくは、環境政策課のWebサイト「ECOIST」をご覧ください。  
URL : [http://www.city.akashi.hyogo.jp/kankyuu/kankyuu\\_s\\_ka/ecoist/index.html](http://www.city.akashi.hyogo.jp/kankyuu/kankyuu_s_ka/ecoist/index.html)

 Webマークは、詳細情報を得るための参照先のURLをご案内しています。

## 目次

### トピック 1

#### 自然環境の保全

明石の自然環境を守る取り組みは何をしていますか？

3

### トピック 2

#### パートナーシップ

パートナーシップについての取り組みはすすんでいますか？

5

### トピック 3

#### 情報発信

情報発信、コミュニケーションへの取り組みは行っていますか？

7

### トピック 4

#### 温暖化防止

温暖化防止へどのような取り組みを行っていますか？

9

### トピック 5

#### ISO14001

ISO14001の取り組みについて教えてください。

11

### トピック 6

#### ごみ問題

ごみ問題への取り組みを教えてください。

13

# 明石の自然環境を守る取り組みは何をしていますか？



オニバス観察会で説明を行う兵庫・水辺ネットワークのスタッフ

## ため池を中心にしたイベントを開催しました。

帰化生物による生態系の危機についての講演や、オニバスなどの水草や野鳥の観察を行う「ため池発見in江井島（オニバス観察会）」や、水を抜いたため池に入って植物や動物を見て触れることで水辺の貴重な自然を感じてもらう「ため池ドロンコ探検隊」を開催しました。

また、水路を歴史的に考察した話を講師から伺いながら、実際に鳴池（大久保町松陰）から皿池（大久保町江井島）までの水路を歩くイベント「水路をたどって」を開催しました。

このような自然環境保全についてのイベントをNPO（兵庫・水辺ネットワーク、江井島だいすきの会）、地元中学校などの教育機関、水利組合、県等と連携して取り組みました。



イベント「水路をたどって」の様子



**オニバス：**  
直径2m近い巨大な葉を水面に浮かべるスイレン科の植物。兵庫県東播磨地方、中でも明石市は、全国でも有数のオニバス分布地として知られているが、近年国内で絶滅の危機にさらされている。

兵庫・水辺ネットワークのWebサイト  
<http://mizubenetwork.cool.ne.jp/>

## 環境審議会に自然環境部会を設置しました。

明石市の自然環境について、保全・回復すべき重点対象とそのための施策のあり方について、専門的な見地から検討し、今後の自然環境における施策、環境基本計画の見直しにつなげるため、環境審議会に自然環境部会を設置しました。

自然環境部会の議事録などの資料は、環境政策課のWebサイト「ECOIST」で公表しています。

環境政策課のWebサイト「ECOIST」  
[http://www.city.akashi.hyogo.jp/kankyou/kankyou\\_s\\_ka/ecoist/index.html](http://www.city.akashi.hyogo.jp/kankyou/kankyou_s_ka/ecoist/index.html)

## 明石の自然とまちづくりネットを結成しました。

明石の自然環境と人が調和し、共生するまちづくりを進めるため、自然環境の保全活動に取り組む市民団体や、明石工業高等専門学校・神戸学院大学をはじめとした教育機関、行政など、さまざまな分野のメンバーで、平成15（2003）年10月に明石の自然とまちづくりネットを結成しました。

結成後、メンバー間で自然環境における情報を共有し、平成16（2004）年度は明石の貴重で豊かな自然についてまとめた冊子「知っと明石」の発行、貴重な自然を実際に見てもらうイベント「水辺の自然探訪 ～“明石遺産” ミステリーツアーへ ようこそ！～」の開催等に取り組んでいます。



「知っと明石」：  
環境政策課のWebサイト「ECOIST」  
からダウンロード可能

## ビオトープを環境学習の場として活用しました。



大久保浄化センター内で行われた自然観察会の様子

大久保浄化センター内に整備したビオトープを、水環境保全を考える場として提供し、観察会など（水生生物を放流、ほたるの観察会）に活用しました。

この一連のビオトープの活動により、国土交通大臣賞〈いきいき下水道賞〉を受賞しました。

下水道部のWebサイト あかしの下水道  
<http://www.city.akashi.hyogo.jp/gesuidou/gesui/top.htm>

## アカウミガメの追跡調査を行いました。

アカウミガメの回遊ルートを調べるため、3匹を放流し、その経過を毎日Webサイトに掲載しました。

調査内容を積極的に情報発信することで、ウミガメをはじめとした海岸環境の保全について、多くの方に関心を持ってもらうことができ、海岸清掃ボランティアが多く活動するようになりました。



アカウミガメを放流する様子

アカウミガメアルゴス追跡調査 IN 明石実行委員会のWebサイト  
<http://www.eonet.ne.jp/~argos-akashi/>

# パートナーシップについての 取り組みはすすんでいますか？



市民参画講演会で講演を行う環境NGO環境市民のスタッフ

## NGOとの協働でパートナーシップ組織設立について検討しました。

環境NGO環境市民との協働によって、パートナーシップについての戦略作業を行い、明石市において市民参画がうまく動く仕組みづくりに関する検討を行いました。

具体的に、まず明石市の将来像を描き、目指すゴールを明確にした上で、それを実現するために何が必要なのか、どのようなスケジュールで行うかを考えて、戦略化しました。

平成16(2004)年3月には、その第一弾として、パートナーシップによるまちづくり、そのために必要な人づくりについて等を事例に基づいて紹介する、市民参画講演会(市民、職員対象)を開催しました。

内容は、人づくりの必要性について、グリーンコンシューマーについて、環境問題に取り組むことで活性化した商店街の事例紹介などでした。

環境NGO 環境市民のWebサイト  
<http://www.kankyoshimin.org/>



### 参加者の声

市民との協働推進に自治体職員の積極的な関わりが求められていることが良く分かった。(職員)

計画が機能するにはパートナーシップに加え、縦割りの改善が必要だと認識した。(職員)

説得力があった。日本人はいかに裕福なのか考えさせられた。(市民)

今後の環境運動を進めていく上で、新たな視点を持つことができました。(市民)

一方で、講演会についてのPR不足を指摘する声や、現状の市民、議員、市職員の関係ではパートナーシップは難しい、また、活動の場の提供、事務援助等の市民団体へのバックアップが先決ではないかという声もありました。



## 環境首都コンテストに参加しました。

明石市は平成14(2002)年度から毎年、環境NGO環境市民が主幹事団体となって行っている環境首都コンテストに参加しています。

明石市がコンテストに参加する目的は、

- ①全国の自治体の優れた事例などを通して、明石市の現状における課題を明確にする
- ②コンテストの実施主体である環境NGOによる調査を通して、明石市の環境政策を第三者的、総合的に評価する等が挙げられます。

### 参加結果

総合順位 83自治体中 44位(前回52 / 115)

人口規模別 人口10万人以上30万人未満 20自治体中12位(前回21 / 35)

## パートナーシップの知識、 ノウハウを持つ「人づくり」に取り組んでいます。

持続可能な地域づくりには、パートナーシップについてのノウハウを持ち、協働による取り組みを実践するような人づくりを、市民と行政職員双方に対して行う必要があることから、前述の市民参画講演会(市民、職員対象)、ファシリテーター養成講座(市民対象)を開催し、女性のエンパワーメント支援セミナーに職員が参加しました。



ファシリテーター養成講座の講師：  
NPO法人 女性と子どものエンパワメント関西のWebサイト  
<http://www.osk.3web.ne.jp/vidiodoc/>



平成15(2003)年度ファシリテーター養成講座修了生が企画した『はじめての第一歩～小さな計画づくり～』の様子

平成15(2003)年度ファシリテーター養成講座修了生が企画した『いい男になりま専科』の5回目「まちにあなたの活躍の場を」の様子

## パートナーシップ先進都市(岡山県津山市)に学びました。

行政、市民団体のパートナーシップがうまく機能するための条件を知るために、環境NGO環境市民、津山市との協働の基、市民が中心となって原案から環境基本計画を作り上げ、その運用も市民中心で行っている環境先進都市津山市への視察を行いました。

津山市役所の他、実際に環境基本計画の策定、運用に関わっている市民団体「エコネットワーク津山」を訪問して生の声を聞くことにより、パートナーシップによる取り組みが成功した要素(ノウハウを持つ第三者による、人づくりを中心に据えたコーディネート等)、今後の課題を把握することができました。

エコネットワーク津山のWebサイト  
<http://www3.tvt.ne.jp/econet/>

# 情報発信、コミュニケーションへの取り組みは行っていますか？



環境政策課のWebサイト「ECOIST」のHomeページ

## 環境政策課のWebサイト「ECOIST」で情報提供しています。

サイト内のデザインの共通化を図る、コンテンツの充実を図るといった課題を解決するため、平成15（2003）年度から取り組み、平成16（2004）年5月に環境政策課のWebサイトをリニューアルさせました。

リニューアル後の「ECOIST」では以下の情報を提供しています。

**環境部概要**：環境部各課の業務内容、所在地などを記載

**環境施策**：環境基本計画、ISO14001、地球温暖化対策実行計画、パートナーシップについての内容を記載

**年次報告書**：年次報告書の概要を記載

**環境審議会**：環境審議会、自然環境部会、資源循環部会の活動経過、議事録、各種資料の情報を提供

**イベント情報**：環境についてのイベントの情報を記載

**環境学習支援**：環境問題に関心のあるグループの環境学習を支援するための情報を記載

**ダウンロード**：各条例、計画、届出書等の情報を提供



環境政策課Webサイト「ECOIST」の年次報告書の概要のページ

環境政策課のWebサイト「ECOIST」  
[http://www.city.akashi.hyogo.jp/kankyoku/kankyoku\\_s\\_ka/ecoist/index.html](http://www.city.akashi.hyogo.jp/kankyoku/kankyoku_s_ka/ecoist/index.html)

## 年次報告書を使って市民とのコミュニケーションに努めています。

年次報告書の策定途中の素案の段階で、市民の皆様からご意見を伺ったうえで最終的に発行しています。

また、年次報告書について出された意見については、庁内で対応案をまとめて改善を行い、措置内容については次年度年次報告書に記載して公開をしています。

しかし、市民からの意見が少なく、市民とのコミュニケーション機能が十分に働いているとはいえない状態であったため、より多くの方とのコミュニケーションを図るため、分かりやすさを重視した本レポート「環境レポート2004」を作成し、重層的なアプローチを採用いたしました。



年次報告書の冊子とCD-ROM。今年度から年次報告書はCD-ROMとWebによってのみ提供しています

## 環境学習支援制度などを通じて環境啓発、環境情報の提供に取り組んでいます。

こども環境探偵団や環境学習支援制度、スターウォッチングなどを通じて、環境啓発、環境情報の提供に努めています。

平成15年度は、こども環境探偵団として、身近な樹木の二酸化炭素吸収量などを調査することを通じて大気環境保全に関する認識を高める「樹木の働きを調べよう」と、河川での水生生物調査、水質調査などを通じて、水環境のあり方について考えてもらう「水生生物調査」を実施しました。

環境学習支援制度の支援メニューとしては、①講演（地球温暖化問題、酸性雨問題等）、②環境ゲーム、③環境の調査と実験（水生生物調査、環境家計簿）、④環境教育ビデオの貸出し、⑤測定機械の貸出し等を用意しています。

教材を利用された方からは、「分かりやすくまとめられているものが多く、役に立ちました」というご意見を聞きましたが、その一方で、「こういった役に立つ教材の存在を知らない市民が多いのでは？」という声も聞かれました。

環境政策課のWebサイト「ECOIST」でビデオの一覧表を作成していますが、より積極的な広報が必要であると考えています。



**環境学習支援制度**：  
 環境問題に関心のあるグループの環境学習を支援するために、職員を講師として派遣したり、ビデオや騒音計、バックテストなどの学習資料の貸出しを行ったりする制度。



環境学習支援制度についての詳しい情報は、環境政策課のWebサイト「ECOIST」をご覧ください。  
[http://www.city.akashi.hyogo.jp/kankyoku/kankyoku\\_s\\_ka/ecoist/gakusyuu/index.htm](http://www.city.akashi.hyogo.jp/kankyoku/kankyoku_s_ka/ecoist/gakusyuu/index.htm)

上：水生生物調査の様子  
 下：環境についてのビデオ

# 温暖化防止へ どういう取り組みを行っていますか？



温暖化についての環境セミナーで待機電力の実験によって省エネの説明を行う地球温暖化防止活動推進員

## エコオフィス活動を推進しています。

温暖化防止については、地球温暖化対策の推進に関する法律第8条に基づいて、市の全ての事務・事業を対象範囲とする（市民生活や事業活動に伴って排出される温室効果ガスは対象外）明石市地球温暖化対策実行計画を策定しています。

その推進については、環境マネジメントシステムにおいて策定したエコオフィス行動指針に基づいて、電気使用量の削減、ガソリンの使用量の削減、コピー用紙使用量の削減等に取り組んでおり、平成15（2003）年度はエコオフィスに関する環境目標を全て達成しました。

エコオフィス活動を推進するために、庁内用ニュースレター、啓発用ポスター、その他エコオフィス活動に役立つようなものを、グループウェアを通じて配布しています。

しかし、温室効果ガス排出量全体の約8割が廃棄物や上下水の処理等、市民・事業者の活動に大きく依存しており、庁内のエコオフィスへの取り組みだけで排出量を削減することは、非常に困難です。



庁内用ニュースレター、啓発用ポスター：グループウェアを利用して各職場でダウンロードが可能

**グループウェア：**  
組織内で情報共有、  
コラボレーション  
を行うためのソフト  
ウェアの総称。

明石市地球温暖化対策実行計画は環境政策課Webサイト「ECOIST」からダウンロード可能  
[http://www.city.akashi.hyogo.jp/kankyou/kankyou\\_s\\_ka/ecoist/download/index.htm](http://www.city.akashi.hyogo.jp/kankyou/kankyou_s_ka/ecoist/download/index.htm)

## 温暖化についてのセミナーを開催しました。

明石地域における兵庫県地球温暖化防止活動推進員及びその協力員と連携して、親と子を対象に環境かるたなどを用いて、楽しく温暖化について学ぶ環境セミナー「親と子の環境教室」、実際に温暖化防止活動に取り組んでいる方の話を交えたセミナー「循環型社会を目指して」を開催しました。

また明石クリーンセンターで行われた「あかし環境フェア」にも温暖化防止推進員及び協力員が参加し、市民の環境意識向上に努めました。



上：紙芝居を通じて温暖化について説明する地球温暖化防止活動推進協力員  
下：環境かるたに夢中になる子どもたち



### 参加者の声

子供達も喜んで参加して何かを感じてくれたと思います。大人も子供も楽しんで楽しかった。エネルギー問題を伝える大切さを痛感しました。継続してほしい。工作の種類を増やすようにしてほしい。



兵庫県地球温暖化防止活動推進員：兵庫県地球温暖化防止活動推進センターWebサイト  
<http://www.heaa-salon.or.jp/ondancercenter/>

## 環境基本計画における施策を推進しています。

エコオフィス活動や省エネ、省資源の取り組みの他にも、明石市環境基本計画に掲げる以下の施策を推進することで、地球温暖化対策を図りました。（施策についての詳細は、平成15（2003）年度年次報告書を参照。数値は平成15（2003）年度におけるもの）

### 生ごみ、枝葉等のたい肥化の促進

ごみの減量を図るため、生ごみ堆肥化容器（35基）、及び生ごみ処理機（85基）の助成

### 事業者に対するごみ減量化の促進

大規模建築物の所有者（事業者）に対して、ごみの減量計画の提出、廃棄物管理責任者の選任を促進

### ごみ処理に係る応分負担の導入の検討

明石市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の改正を行い、粗大ごみの有料化を決定

### 自動車の適正な利用の推進

市バスの全更新車両7両にアイドリングストップ装置を導入

### 低公害車の普及促進

低公害車を12台導入（うち、天然ガス自動車3台）

### 透水性舗装の導入等、雨水の地下浸透による地下水の涵養

透水性舗装（433㎡）の整備、透水性ブロック舗装（2,301㎡）

**透水性舗装：**  
間隙が多い舗装材の特質を利用して、歩道における降雨時の路面からの雨水の排除、舗装体中での一時貯留と地中への還元を目的とした舗装をいう。透水性舗装は、多孔質形状の舗装体により保水性が持続し、表面温度の上昇が抑制されるため、ヒートアイランド現象の抑制にも寄与する。



平成15（2003）年度年次報告書、明石市廃棄物の処理及び清掃に関する条例は、環境政策課Webサイト「ECOIST」からダウンロード可能  
[http://www.city.akashi.hyogo.jp/kankyou\\_s\\_ka/ecoist/download/index.htm](http://www.city.akashi.hyogo.jp/kankyou_s_ka/ecoist/download/index.htm)

# ISO14001の取り組みについて 教えてください。



更新審査のオープニングミーティングで挨拶する北口市長

## ISO14001の認証取得を更新しました。

平成16（2004）年2月17日から3日間にわたってISO14001更新審査が行われ、(株)日本環境認証機構の判定委員会において認証登録の更新が認められました。（有効期限：平成19（2007）年3月13日）

審査の結果、明石市の環境マネジメントシステムはISO14001の要求事項に適合し、有効に稼働していると評価されました。そのうち、主なものを以下に紹介いたします。

- 1 現場審査では部長・課長等の環境マネジメントシステムへの認識の高さ、リーダーシップの強さを感じた
- 2 環境マネジメントシステム文書の管理等をグループウェアで行うことにより、省資源、情報伝達の迅速化が図られている。又、グループウェアを活用し、職員のアイデアを引き出すなどコミュニケーションの活性化にも寄与している
- 3 「全員活動によるエコオフィス活動の取り組み」「環境基本計画に基づくまちづくりの推進」により、3年間で環境マネジメントシステムの改善について成果を挙げている



ISO14001更新審査時の風景

環境マネジメントシステム：  
環境マネジメントシステムとは、計画（Plan）、実施（Do）、点検（Check）、改善（Action）の一連のサイクル（PDCAサイクル）を構築し、この繰り返しによりシステムの継続的な改善及び環境負荷の低減を図ろうというものです。ISO14001は、この環境マネジメントシステムの国際的な規格。

## 内部環境監査によって環境マネジメントシステムを改善しています。

内部環境監査とは明石市が定めた環境マネジメントシステム及び環境活動の結果などを検証するために、事業者自らが行う「自己点検」の仕組みです。

内部環境監査によって見つけ出された環境マネジメントシステムの改善点は、市長による見直しの際に情報提供されます。

平成15（2003）年度の内部環境監査の結果は、軽微な不適合が3件、観察事項（不適合には該当しないが、そのまま放置すると「軽微な不適合」になる可能性のある事項）が21件ありましたが、全て是正しました。



環境部に対する内部環境監査の様子

## 職員への意識啓発をすすめています。

環境マネジメントシステムについての取り組みをすすめていくためには、環境意識の高い職員を育成する必要があります。

そこで、人事課による研修に環境マネジメントシステムの研修を取り入れたり、環境に著しい影響を及ぼす可能性のある特定業務に従事する職員に対して研修を行うなど、様々な環境管理研修を実施し、環境マネジメントシステムの周知と環境に対する意識啓発を図りました。

また、環境管理マニュアルが改正されたり、認証登録が更新された時など、職員間で環境マネジメントシステムについての意識を共有するために、ISOについてのメールマガジンを配信しています。

平成15（2003）年度における環境マネジメントシステムに関して、環境管理推進事務局に寄せられた苦情又は要望等は2件ありましたが、その際も職員への周知を図るため、メールマガジンを発行しました。

さらに、今までに発行したISOメールマガジンや、ISO研修用マニュアル、庁内で共通して使用する様式などの情報をグループウェアに格納することで、情報の共有化、業務効率の改善を図りました。

## 環 境 方 針

平成15年度の市長による環境マネジメントシステムの見直しを受けて、平成16年7月に環境方針を以下のように見直しました。

明石市は、地球環境と調和した人と自然との共生を確保し、循環を基調とする持続可能な社会の実現のため、次に掲げる方針にもとづいて環境の取り組みに率先して行動します。

- 1 市民、NPO、事業者とのパートナーシップにより、明石市環境基本計画に基づく環境施策を推進します。
- 2 環境マネジメントシステムの推進により、行政経営の改善を目指します。
- 3 環境目的及び環境目標を定め、定期的な見直しを行いながら、汚染の予防に努め、環境マネジメントシステムを継続的に改善します。
- 4 省エネルギー・省資源、グリーン購入などエコオフィス活動に取り組みます。
- 5 公共事業については、積極的に環境に配慮します。
- 6 事務事業の推進や施設管理にあたっては、環境関連法令等を遵守します。
- 7 市職員は、環境方針を理解し、環境への認識を深め、環境保全活動を継続的に進めます。
- 8 環境方針及び環境マネジメントシステムに基づく活動結果を広く公表します。

平成16（2004）年7月1日  
明石市長 北口 寛人



ISOについての詳しい情報は、環境政策課のWebサイト「ECOIST」をご覧ください。  
[http://www.city.akashi.hyogo.jp/kankyou/kankyou\\_s\\_ka/ecoist/index.html](http://www.city.akashi.hyogo.jp/kankyou/kankyou_s_ka/ecoist/index.html)

## ごみ問題への取り組みを教えてください。



環境フェアでのフリーマーケットの様子

### イベント等を通じてごみ減量の必要性を訴えました。

#### 「消費者フェア」

ワークショップなどでごみ分別体験や買い物袋持参への推進を啓発することで、ごみの減量化、リサイクルを促進しました。

#### 「環境月間における取り組み」

自治会、町内会、公園愛護会及び各種ボランティア団体などが市内全域で屋外一斉清掃を実施しました。

#### 「ポイ捨て防止キャンペーン」

保健衛生推進協議会、女性団体協議会、商店街振興会等と協力して、ポイ捨て防止キャンペーンを実施しました。

#### 「あかし環境フェア」

生ごみ堆肥化容器、生ごみ処理機の展示会等を実施し、ごみの減量化を訴えました。



環境フェアで市民団体が行ったリサイクル教室

### 地元住民と連携してクリーン作戦を実施しました。

#### 「里山クリーン作戦」

平成15（2003）年11月、大久保松陰新田において、地元住民と共同で里山クリーン作戦を実施し、不法投棄の収集処理を行いました。

#### 「ため池クリーンキャンペーン」

農家と地域住民が協力して貴重な自然・水辺空間のため池を守るため、7地区（12箇所）でため池クリーンキャンペーンを実施しました。この取り組みで、住民による清掃活動を支援することにより、水辺環境保全についての意識が向上してきています。



里山クリーン作戦の様子

### 環境審議会に資源循環部会を設置しました。

ごみ減量化のため、新たな効果的な取り組みの推進について審議するため、環境審議会に資源循環部会を設置し、平成16（2004）年3月に第1回の部会を開催しました。

資源循環部会の議事録等資料は、環境政策課のWebサイトECOISTで公表しています。



第1回資源循環部会の様子

環境政策課のWebサイト「ECOIST」  
[http://www.city.akashi.hyogo.jp/kankyou/kankyou\\_s\\_ka/ecoist/index.html](http://www.city.akashi.hyogo.jp/kankyou/kankyou_s_ka/ecoist/index.html)

### 市民の自主的な環境活動を促す取り組みをしました。

市内の集団回収団体（414団体うち新規登録団体7団体）に対して、助成金や活動用具を交付するなどの支援のを行い、その自主的な資源回収活動により年間9,062トン（前年度9,192トン）を回収し、資源化しました。

平成15（2003）年度は、団体の新規登録の啓発に加えて、ごみの減量化、分別方法等についてのちらしを配付することにより、現状の登録団体の活動の活性化を図りました。

また、生ごみ堆肥化容器および生ごみ処理機の助成を行うことで、生ごみ、枝葉等のたい肥化の促進を図りました。

生ごみ堆肥化活動については、明石市のごみとリサイクルのWebサイトをご覧ください。  
[http://www.city.akashi.hyogo.jp/kankyou/clean\\_cen/clean/pages/02\\_c1.html](http://www.city.akashi.hyogo.jp/kankyou/clean_cen/clean/pages/02_c1.html)